

## 第12節 南大東島

### 第1項 取り組み概要

南大東島の特産であるカボチャを活用したプログラムづくりに取り組んだ。収穫に係る作業と料理体験を組み合わせる事で、島に対する理解を深めるとともに島の人達との交流が図られるようなツアー造成を目指した。

### 第2項 造成プログラム一覧

- 1 ボロジノの島で農業&料理体験

### 第3項 実施ツアー一覧

<参加者合計：33名>

プログラム名	出発日	泊数	宿泊形態	定員	参加者数
ボロジノの島で農業&料理体験	17/01/20(金)	2泊3日	民宿	9名	9名
	17/01/27(金)	2泊3日	民宿	9名	8名
	17/02/10(金)	2泊3日	民宿	9名	8名
	17/02/24(金)	2泊3日	民宿	9名	8名

※表中の( )内は助成対象外の内数

## 第4項 ツアー概要

### 1. ボロジノの島で農業&料理体験

ツアー紹介文：

南大東島の特産品のひとつであるサトウキビとかぼちゃ。作業内容は時期によって異なりますが、南大東島ならではの農業が体験できます。作業の後は、島のお母さん達と料理体験。沖縄本島はひと味もふた味も違う、南大東島の味をご堪能ください。

行程表：

日	時間	行程
1 日 目	8:30	集合、航空券を受け取り後、荷物預けを済ませる
	8:45	<b>【結回式】事業説明、諸連絡など</b>
	9:40	那覇空港より[RAC861 便]にて出発
	10:45	南大東空港到着、コーディネーターと合流
	11:00	ふるさと文化センターに移動
	11:15	<b>【オリエンテーション】</b> 会場：ふるさと文化センター
	12:00	昼食、フリータイム
	17:00	<b>【モニタープログラム：ボロジノの島で農業&amp;料理体験】</b> ・料理体験
	18:00	<b>【夕食交流会】</b> 会場：ふるさと文化センター
	19:30	終了  <b>(宿泊：島内民宿)</b>
2 日 目	10:00	朝食 モニタープログラムの会場(畑)へ移動 <b>【モニタープログラム】ボロジノの島で農業&amp;料理体験</b> ・収穫体験
	11:30	終了、宿泊先へ移動 昼食、フリータイム
	18:00	夕食  <b>(宿泊：島内民宿)</b>
3 日 目	9:00	朝食、チェックアウト ふるさと文化センターへ移動 <b>【振り返りゆんたく会】</b> 会場：ふるさと文化センター ・意見交換、アンケート記入
	10:00	終了、アンケート回収
	10:15	南大東空港へ移動
	11:15	南大東空港から[RAC862 便]にて那覇へ
	12:30	那覇到着、解散

実施写真：



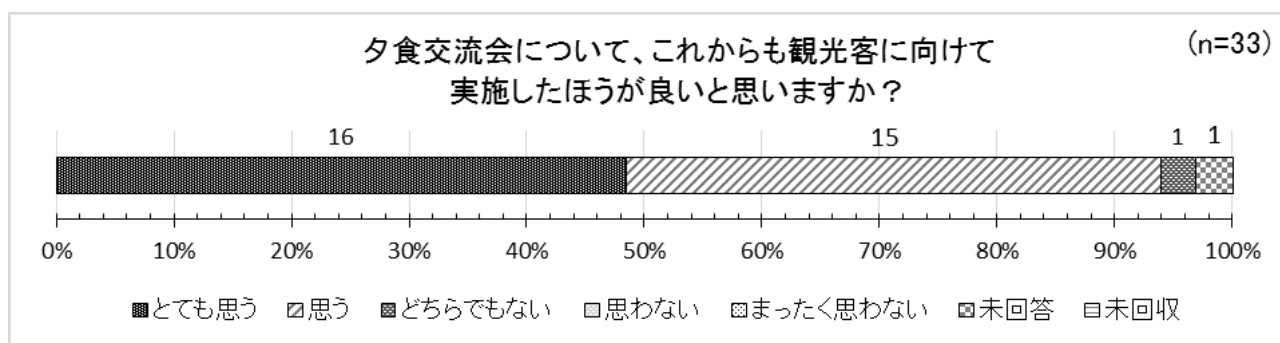
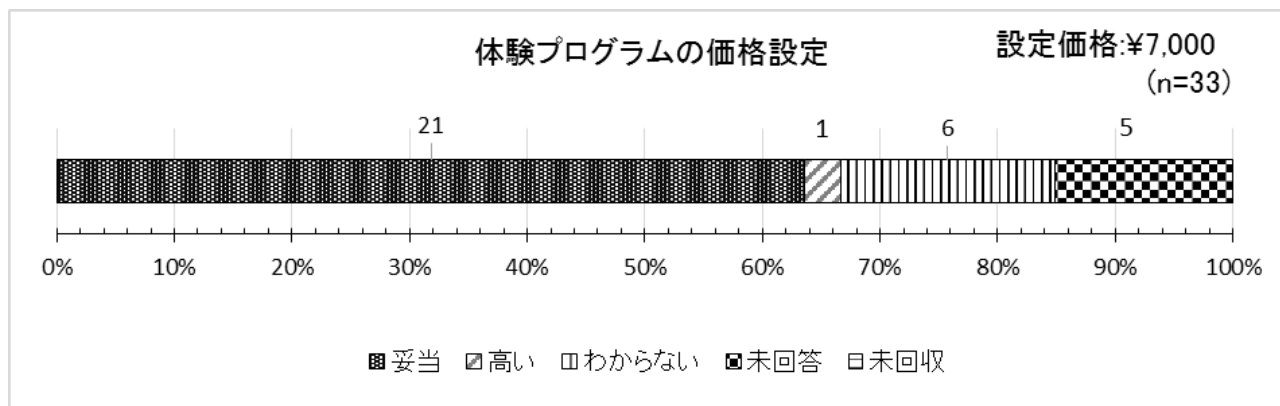
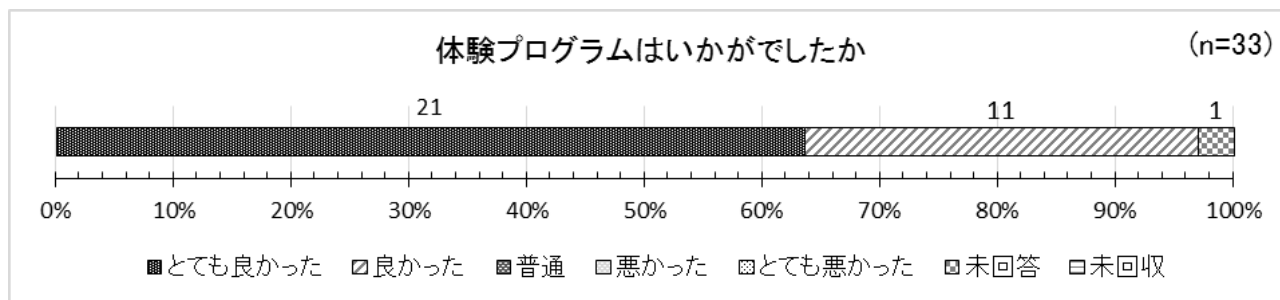
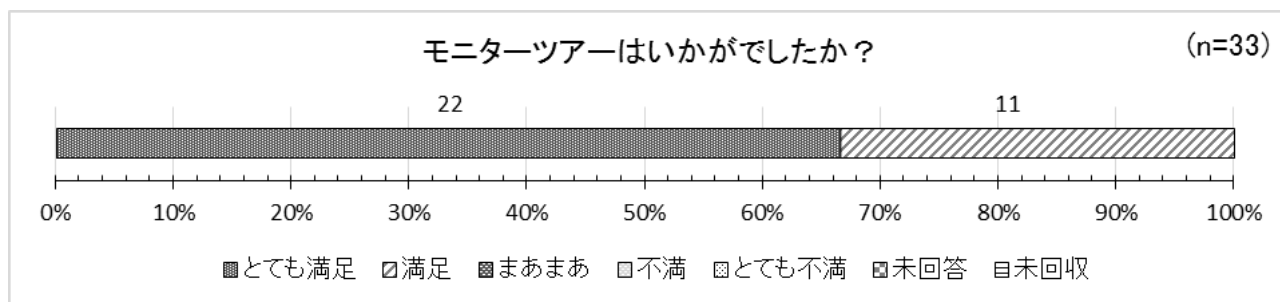
■成果

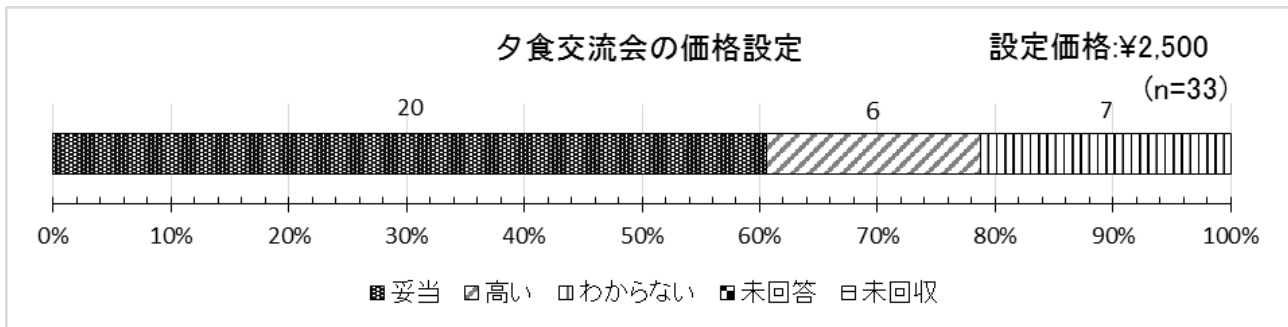
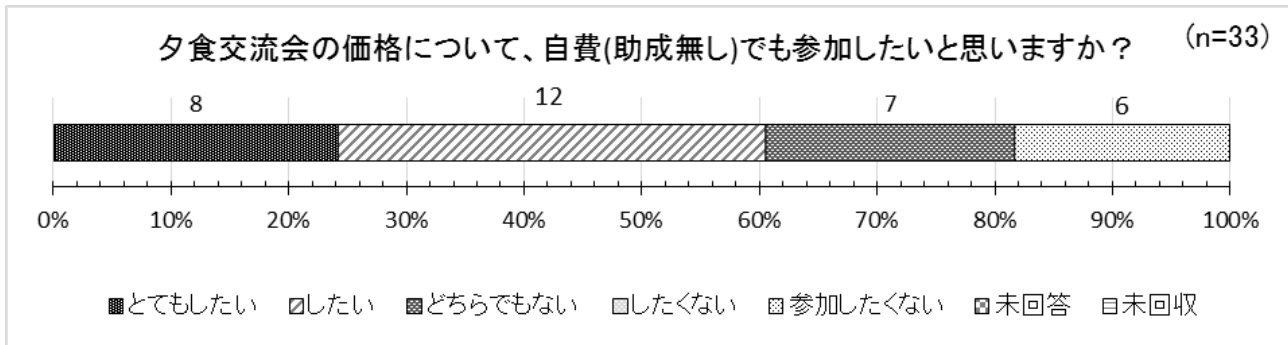
- ・複数回の実施を通して、内容のブラッシュアップに繋げる事ができた。
- ・新しいガイド発掘にも繋がった。

■課題

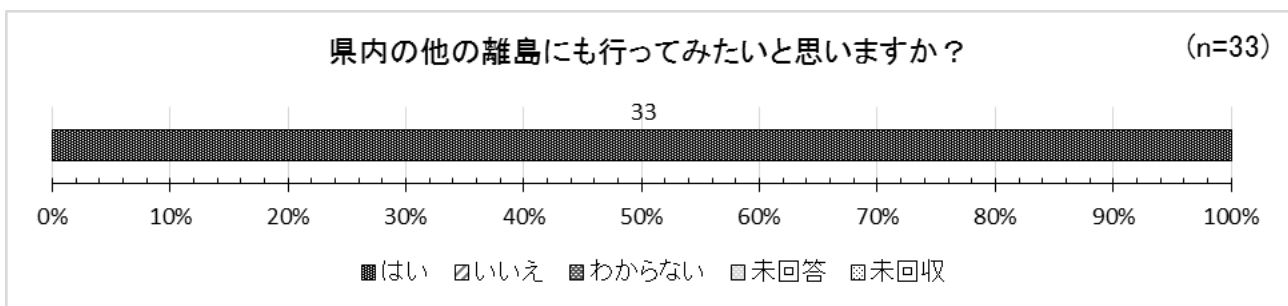
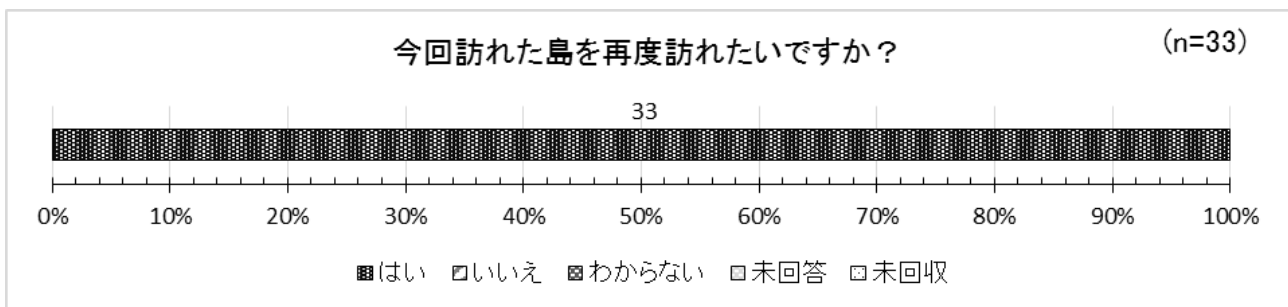
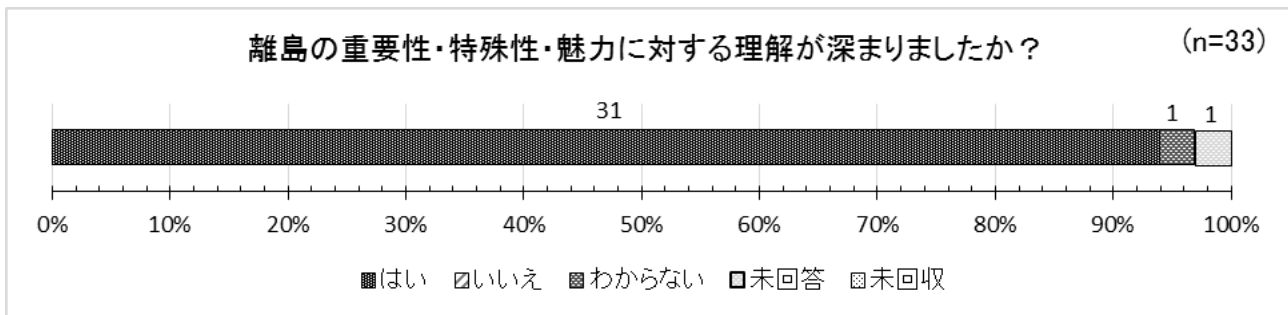
- ・全体的に満足度は高かったが農業や調理部分をもっと体験したかったという感想が多かった。

モニターアンケート結果：



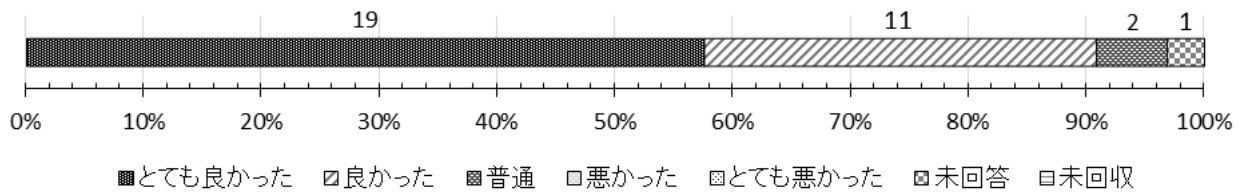


### 第5項 島に関するアンケート結果



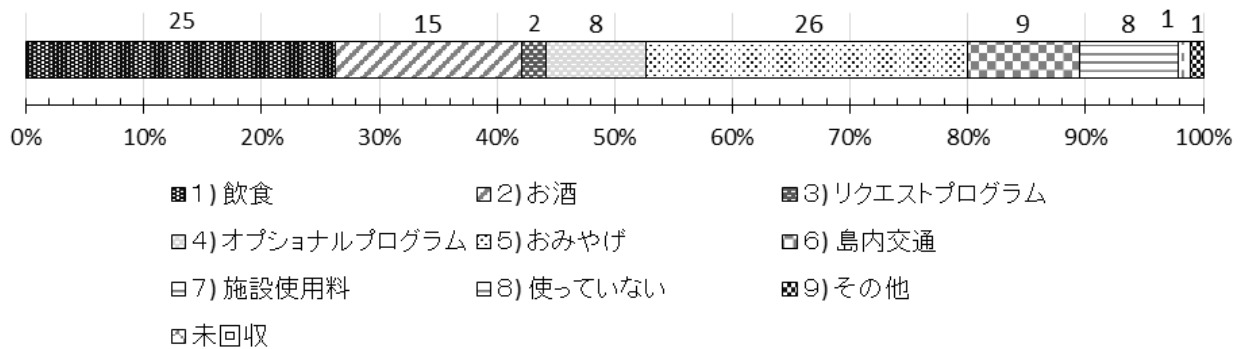
島に着いてからのコーディネート(段取り)はいかがでしたか？

(n=33)



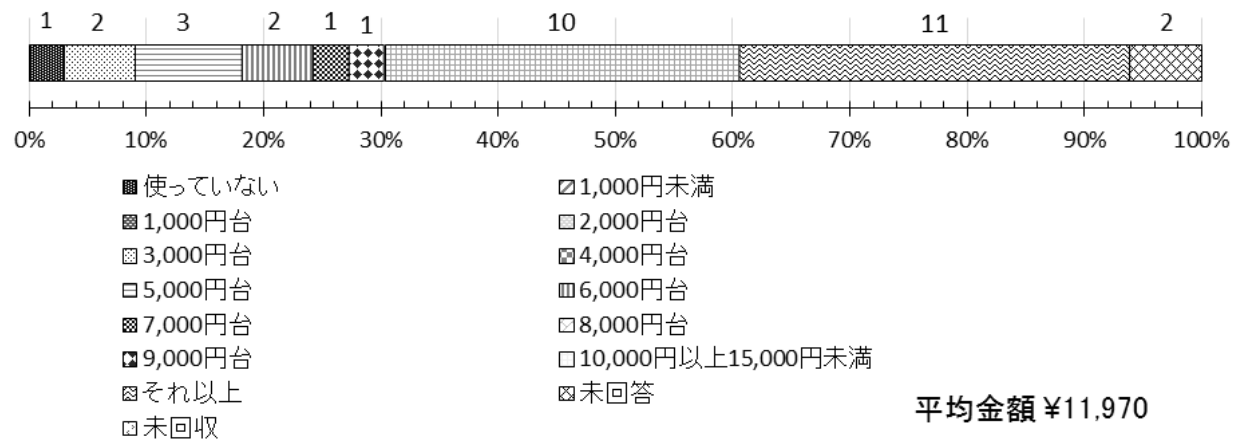
何に対してお金を使いましたか

(※複数回答可)



使用した合計金額

(n=33)



## 第6項 島の声

- ・特産品であるカボチャやサトウキビなど、独自性を活かしたプログラムが造成できた。
- ・農家と連携したプログラムができ、農家も喜んでいる。
- ・女性組織メンバーがプログラム実施者を務めた事で、新しいプログラム実施者の発掘に繋がった。女性組織メンバーからも「今後の取り組みに活かせる」との声があがった。
- ・プログラムのうまくいかなかった部分を見直し改善に取り組む事ができた。
- ・事前の情報周知がなかったため、オプションプログラムの利用者は少なかった。事前の情報発信に取り組む必要がある。
- ・事業理解が浅いモニターや時間を守らないモニター、基本的なマナーを守らないモニターがおり、全体の進行に難しさを感じる場面があった。
- ・プログラム料金について、適切な料金への見直しが必要と感じている。

## 第7項 参加者の声

- ・自然の豊かさや人の温かさ、産業基盤整備を見て島の重要性を感じた。
- ・農業・料理体験ともに作業が簡単だったので、もっと時間のかかるプログラムでも良かったと思います。
- ・コーディネーターが明るく何でも聞きやすい雰囲気ですぐにいられたのが良かった。島の経済状況や歴史などお話しして欲しいことがあったが、そこまでゆっくり話す時間はなかったのでそこだけが残念。
- ・大東太鼓などの伝統芸能体験を組み込んでほしいと思います。
- ・大東島ならではの魅力全てが観光のコンテンツになると思います。とてもコアな魅力があり、一度ハマったら抜けられない。宮古八重山とは違い観光地化されていないところも魅力。

## 第8項 成果

新規プログラムの造成を通じて、新しいガイドの発掘や他組織との連携が促進され、今後の取り組みの可能性を広げる事に繋がった。

事業当初はモニターが農作物を破損させてしまい、受入団体がプログラム受入れを断るなどのトラブルが発生した。それを受けて、コーディネーターが作業内容を見直し、モニターの満足度を維持しつつ受入側の負担を軽減させるような工夫も生まれ、コーディネートスキルの向上も図られていた。

また、通常は本土からの旅行者が多い宿泊受入先も、本事業を通じて本島住民との交流を図る事ができたとの喜びの声もあった。

## 第9項 課題

島内交通の事情により大人数の受入ができない事もあり、プログラム料金やコーディネーター費用、夕食交流会費用について課題の声があがった。少人数の受入れでも島によりお金が落ちるような仕組みづくりをはじめ、オプションプログラムの利用や島内施設の利用を促すための事前の情報発信も十分に取り組む事が必要である。